

転換は決してできないことを証明していき

〔みんなの党〕

道州制の導入を政府に迫っているみんなの党は、区議選では候補者を公募し、立候補を予定しています。

道州制は財界の要望で、自治体を住民からますます遠い存在にして住民サービスを下させ、また大企業の大規模プロジェクトをすすめる、住民サービス低下・開発優先路線です。

現在、みんなの党の国会議員秘書をしている鈴木木よと氏は、自民党区議時代、普通教室の冷房化について、温暖化などを理由に反対した「実績」の持ち主です。

こうした政策を持つ候補者がいくら江東区議会に進出して、オール与党と同じ道をたどることでしょう。

しかし現職国会議員のいる江東区は東京でみんなの党の拠点であり、総選挙では日本共産党を上回る得票をえています。区民にその実態が知られていないだけに、事実にもついでに告発が求められています。

日本共産党の議席の増大によって、安心して暮らせる江東区への最大の力です。

日本共産党区議団、みなさんと一緒にたくさんの願いを実現してきました

日本共産党区議団は「地方政治では住民が主人公」を貫き、住民の利益への奉仕を最優先の課題とする地方自治を確立する「綱領」の立場で奮闘してきました。

そして自民、民主、公明のオール与党区政のもとでも、日本共産党区議団は区民の立場で行政のチェック機能を果たし、また住民の声を議会に届けて一緒に

● 子どもの医療費を中学三年生まで無料に

● 小・中学校の教室にクーラー設置

● 特別養護老人ホームを増設

● 認可保育園の増設

● 中小企業振興のための地域経済活性化基本条例の制定

● 小・中学校の耐震化を完了

● 政務調査費に領収書添付

● 委員会傍聴枠を十五人から三十人に倍加

など、たくさんの方の要求を、一歩一歩実現してきました。

毎年提出する「予算要望書」「予算修正案」や議員提出による条例提案など、これらの要求を提案したときには、自民、民主、公明のオール与党の反対ですぐに実現しませんでした。

子どもの医療費助成制度もそうでした。一九九二年、日本共産党区議団は区議会史上初めて「乳幼児医療費の助成に関する条例」を提出し、そのときにはオール与党で否決されました。

二〇一〇年猛暑のなかで喜ばれた小・中学校へのクーラー設置のときもそうです。

日本共産党区議団が「子どもたちは暑くて勉強にならない」と悲鳴をあげています。あるPTAの調査では、八割の親が冷房化を求めています」と、子どもや区民の声を紹介してクーラー設置を求めた質問に、区は「ヒートアイランド問題」「児童の健康めくり賛否両論がある」などを理由に否定的な回答を行ない、他党もこれに同調しました。

しかし日本共産党区議団の繰り返しの要求、父母の運動で小・中学校の冷房化が実現しました。これは区長提案に何でも賛成のオール

与党では決してできないことです。

日本共産党区議団が、オール与党の反対を乗り越えてみなさんと要求を実現できたのは次の点にあります。

〔第一に〕

区民要求を的確のように大切に、区民の切実な要求なら必ず実現できる、実現しなければならぬとの展望と決意をもって、みなさんと一緒に取り組んだからです。

区民要求を広くつかむため、区議団は適時に「区民アンケート」を全世帯に配布（新聞折込も）、いつも千人を超える方々から要求が寄せられています。

また、医師、中小企業、建設、青年、女性などの様々な団体と懇談を持ち、そこで切実な要求が語られ力を合わせています。

そして全区議が地域に相談事務所を持ち、法律相談の日も定め、日常的に区民の方々と接し要求を伺い、その実現に力を尽くしています。

〔第二に〕

要求実現のため、毎年区民要求をかかげた予算要望書をだし、区長提案に対しても「予算修正案」を出す、そして議会の論戦でその要求の切実さ正当性を訴えているからです。



医療費無料化中学3年生まで拡充

例えば、区民に財政負担をかけない財源確保策として日本共産党区議団は、N T Tや東電など大企業の区道占用料の適正化で八億円の増収が見込めると「道路占用料改正条例」を提案。これが裏、九七年と比べ現在年間九億円の増収となつています。

〔都政新報も注目〕

こうした日本共産党区議団の活動を都政新報は、「議会でもこうした提案が真摯に検討され、提出されると理事者としても張りがでる、行政と議会が切磋琢磨していくのは本来の行政と議会の関係として望ましいこと」との江東区理事者の言葉で紹介しています。

自民、民主、公明のオール与党は、区長提案に対して「修正案」など出したことは一度もありません。

〔第三に〕

日本共産党の支部のみなさん、住民のみなさんと一緒に、草の根の運動で要求実現に取り組んでいるからです。

「地下鉄の駅にエレベーターやクーラー設置」「道路の段差をなくした」「太鼓橋の切り下げで助かった」など、地域に密着した要求も沢山実現してきました。

た。共産党の支部のみなさん、住民のみなさんと現地調査、宣伝、署名など一緒に、国や都、そして江東区に要請してきました。

〔第四に〕

八人の区議団をつくらせていただいたからです。

区議会の定数は四四議席で、日本共産党八人の議席占有率は十八・二％です。これを国政にあてはめると衆院で八六人、参院で四三人の国会議員となります。

こうした力を与えて頂いたことが要求実現の大きな力になっています。

現在、区議会の各会派の議席は、自民・無クラブ十二名、公明党十名、民主クラブ九名（民主七、社民一、ネット一）、日本共産党七名、市民の声二名、無所属一名です。（欠員三名）

日本共産党は前回区議選で八人全員当選させて頂きました。その後、あせ上区議が都議となり現在七名の区議団となっています。かつてない激しい選挙戦となりますが、今度の区議選で改めて八人の区議団にさせていたが、区民要求実現、安心して暮らせる江東区実現に全力をあげる決意です。



小・中学校の耐震化完了

